発行所／一般社団法人 ジェネティクス北海道
発行人／近藤 好弘　令和4年11月15日号

Sire サイア

Vol.458
11月

CONTENTS

2 GH家畜改良顕彰（ホルスタイン種・黒毛和種）受賞者紹介
4 第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会
5 ET講習会合格者発表
6 2022北海道ホルスタインナショナルショウ
7 第32回北海道肉用牛共進会
8 現場レポート① 中川町 合同会社ナビック
10 第19回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会
12 現場レポート② 別海町 末廣牧場
14 注目のカウファミリー BRF ミズリー シラス サラダ ET
16 小岩先生コラム けいれん肢症候群

「和牛と秋」

画：冨田 美穂　HP「MIHO TOMITA 牛の木版画と絵画」 https://tomitamiho.com/

ホルスタイン種　家畜改良顕彰

改良に顕著な貢献をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、この度の種雄牛評価成績2022-8月の総合指数（GNTP）上位40位以内に新しくランキングされた2頭の国産種雄牛の生産者を顕彰いたしました。

GNTP第30位　JP3H58355 エツセンス GD アポロ グランクラス　豊富町 (株)栗城牧場

左から 当団近藤専務、栗城 一貴氏、栗城 一憲氏、
JA北宗谷 髙谷 優代表理事組合長、高橋 茂樹専務

栗城牧場は宗谷管内の日本海側に位置し、利尻礼文サロベツ国立公園の一部であるサロベツ原野が広がる豊富町にあります。豊富町は酪農が盛んで乳牛頭数は人口の4倍、1万6千頭おり、道内でも有数の酪農地帯です。某コンビニエンスストアの牛乳で有名な「豊富牛乳」の生産地でもあります。

乳牛改良に携わる人であれば「アポロ」は聞き覚えある名牛だと思います。母「エツセンス ブラウラー エル アポロ」は2016年にジュニア2才、17年にジュニア3才でそれぞれ北海道ナショナルショウにて1等賞に輝き、祖母「エツセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET」は第14回北海道全共で4才名誉賞を獲得しており、4代母「エツセンス レクサス スター アポロ」は04年北海道ナショナルショウ・グランドチャンピオン、翌05年栃木全共優等賞1席など数々の賞歴を持つ、酪農家憧れの5代連続EXファミリーです。この母にゲートダンサーを交配して誕生し、30位でデビューしたのが「グランクラス」です。

「6年前にGHから種雄牛造成の話がありました。今回、選抜されたと聞き大変うれしく思っています」種雄牛造りは今回が初めだったとのことで、喜びもひとしおです。

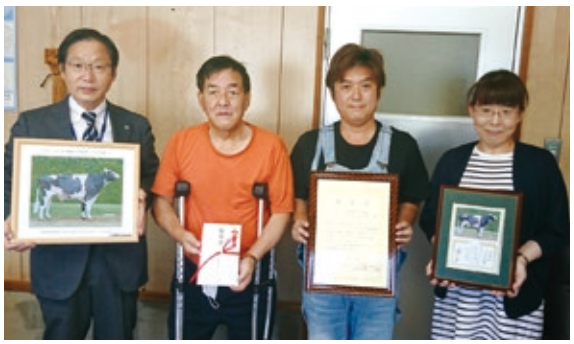
「グランクラス」の娘たちは乳量が多い方ではありませんが、泌乳が落ちることなく維持し、実際に泌乳持続性は全国第2位の評価を受けました。これは「アポロ」ファミリーも同様の特徴だと栗城さんから教えていただきました。そして産次を重ねるごとに乳量が増え、充実した身体と乳房になっていくのもこのファミリーの特徴です。

栗城さんから「グランクラスの娘牛で牛群改良のお役に立てればと思います」というお言葉をいただきました。

今後も栗城牧場と「アポロ」ファミリーがますます活躍されることをご祈念いたします。

（道北事業所　吉田 潤嗣）

GNTP第31位　JP3H58450 デイベロツプ センター バツク ET　美瑛町 (株)稲川牧場



左から 当団近藤専務、稲川 昇氏、稲川 利昭氏、従業員 千脇 幸氏

稲川牧場のある美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかで色とりどりな丘の風景と、神秘的な「青い池」、雄大な十勝岳連峰など自然に恵まれたまちです。「農業」と「観光」のまち美瑛から今回新しい種雄牛「センター バツク」が誕生いたしました。

「センター バツク」の母系はGNTP未経産・経産で常に上位にいる「プリン」ファミリー、祖母は当団の優良遺伝資源造成事業により生まれた「デイベロツプ スーパー プリン ET（父：スーパーサイアー）」で、未経産だった2015年5月GNTP第9位となり、経産牛でも2019年2月に31位と上位にランクしました。母の「デイベロツプ キングボーイ プリンA 7300 ET」も2018年8月に経産牛GNTPで6位になり、当団所有の全きょうだい「デイベロツプ チヤツプ ET」も2022年8月 NTP+2387第9位、また「センター バツク」と全きょうだい「デイベロツプ ゲートダンサー プリン8172 ET」の娘「デイベロツプ ソリユーシヨン プリン9687 ET」は2020年3月に未経産GNTP第1位となりファミリーの力を十分に発揮しています。

「センター バツク」は乳器・肢蹄・尻の構造に優れ、特に尻の角度や尻幅の改良に優れています。また、能力面において乳成分率の改良にも貢献いたします。

稲川牧場ではその他にも「リデイア」や「ボヤンカ」のファミリーも活躍中で、これからも大注目の牧場です。また、現在500頭の搾乳牛を「倍にしたい」と、今後の改良と規模拡大への夢もお聞きしました。

今後も稲川牧場と牛たちがますます活躍されることをご祈念いたします。

（道北事業所　吉田 潤嗣）

黒毛和種　家畜改良顕彰

改良に顕著な貢献をした優秀黒毛和種種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、当団新規選抜牛2頭の生産者を顕彰いたしました。（R4年7月公表 北海道産肉能力育種価成績において、供給可能な当団種雄牛のうち、上位5位以内に新たにランキングされた牛、および新規選抜牛を顕彰するものです。）

北海道育種価7位&新規選抜　H黒-312 鉄晴幸　登別市 井野牧場

前列左から 井野 由貴子氏、井野 嘉久氏、井野 篤子氏
後列左から 当団近藤専務、JA伊達市 佐藤 哲代表理事組合長、
高橋 勝幸営農生産部長

井野牧場は祖父 静揮さんが昭和45年繁殖牛60頭を導入し、観光のまちとして発展を続けている登別市に新規就農されました。現在、嘉久さんご夫妻、知弘さんご夫妻の家族経営でキング式牛舎1棟、平屋牛舎2棟の牛舎形式で繁殖牛64頭を飼養、令和3年度素牛出荷頭数30頭のもと、畜産業を営んでおられます。また、SNSでの情報収集やスマート農業を意識した農業IoTを活用し「生産性の向上を目指した牛造り」に取り組んでおられます。

現在も井野牧場で繋養されている「鉄晴幸」の母「てつはれ９７４２」は平成27年6月北海道育種価脂肪交雑順7位にランクされた「てつせん」の娘牛です。11歳となる「てつはれ９７４２」は繁殖性に優れ9頭の産子を生産しております。特に「花晴茂」、鉄晴幸と全きょうだいの「幸紀雄」による去勢素牛が高額取引され、さらには「美津照重」、「愛之国」、「福之姫」による繁殖牛は枝葉を広げ、井野牧場の根幹を担う血統の一つとなっております。

当牧場で生産された「鉄晴幸」は令和4年7月北海道育種価脂肪交雑順で7位にランクされ、令和4年9月現在、現場後代検定成績でBMS No.平均9.6、平均枝肉重量490kgを記録し、系統を選ばず優れた成績を残しております。「鉄晴幸」の選抜において嘉久さんより「鉄晴幸が牧場にいたのは7カ月齢までででしたが、温厚な性格であり、資質・体伸に富み、すくすくと育ってくれました。現場後代検定で良い結果を出し、全国で注目される種雄牛となるよう願っておりました。今回の選抜を機に畜産経営に力添えできる種雄牛として活躍してほしいです」とコメントをいただいております。

今後の井野牧場と牛たちのますますのご活躍を心からお祈りいたします。

（道央広域事業所　氏平 健太郎）

北海道育種価1位&新規選抜　H黒-313 北美津久　新得町 千葉牧場

左から JA新得町 太田 眞弘代表理事組合長、
千葉 典弘氏、当団近藤専務

千葉牧場はもともと酪農と畑作の複合経営でしたが、平成10年から黒毛和種を導入し、現在では黒毛繁殖雌牛200頭を飼養する繁殖素牛牧場となっています。また千葉牧場4代目である典弘さんは十勝和牛振興協議会の副会長も務めておられ、十勝和牛の発展に尽力されています。早くから受精卵技術にも積極的に取り組まれ、毎月25頭程のペースで採卵を行うことで牛群内の遺伝改良速度を早めると同時に、平成21年に開設した家畜人工授精所を通じて受精卵販売も行っております。また、道内外から優秀な繁殖雌牛を積極的に導入されており、道内有数の高育種価ファミリーである「みさき」や「ななみ」、全国的に有名な鳥取県の「みどり」や「ふくふく」など数多くの系統を所有されています。

今回選抜された「北美津久」の母「てつせん」も長く北海道育種価で上位に評価されている繁殖雌牛であり、脂肪交雑のみならず、枝肉重量、ロース芯面積など主要3形質で極めて高い評価を受けています。千葉さんも当時、「てつせん」系統の導入を目的に受精卵を購入し、この受精卵から産まれたオス子牛が後の「北美津久」でした。当団に導入された「北美津久」はその後、現場後代検定にかけられ、平均枝肉重量537kg、平均ロース芯面積75㎠、BMS No.平均10.6という当団史上最高の成績で検定を終了しました。特に雌の成績でBMS No.平均11.3という驚異的な成績を収め、令和4年7月の北海道育種価において、脂肪交雑基準値+4.97と5に迫る育種価を叩き出し堂々の北海道第1位を獲得しております。

千葉さんからは「間違いなく全国に通用する種雄牛だと思う。道内には勝早桜５や福之姫が多く保留されているので血統的にも使いやすいのではないか。5年後の北海道全共に向けても北海道を引っ張っていく牛になって欲しい」とお話いただきました。

今後の「北美津久」の活躍を期待するとともに、千葉牧場の益々のご発展をご祈念申し上げます。

（十勝北見事業所　齋藤 哲也）

第12回 全国和牛能力共進会 ～鹿児島大会～

令和4年10月6日（木）から10日（月）の5日間、鹿児島県にて第12回全国和牛能力共進会が開催されました。この5年に一度の「和牛のオリンピック」に、今回は41道府県から「種牛の部」248頭、「肉牛の部」166頭、「特別区」24頭、史上最多の計438頭が出品されました。共進会場は霧島市、すぐそばには鹿児島県PRエリアや協賛企業団体エリアなどの催事会場も設けられ、約30万人が訪れました。

北海道代表団はすべての区に22頭（種牛の部14頭、肉牛の部7頭、特別区1頭）で臨みました。各区で上位入賞を果たし、前回宮城大会よりも躍進しました。また、当団出品牛「北神居（父:梅栄福）」は第1区（若雄）で見事に優等賞5席を獲得しました。

北海道代表牛の結果は下表の通りです。

出品区		成　績	名　号	父　牛	出品団体名	出品者
第1区	若雄	優等賞5席	北神居	梅栄福	—	（一社）ジェネティクス北海道
		優等賞13席	愛勝平	勝平1	—	（株）十勝家畜人工授精所
第2区	若雌の1	優等賞13席	もね	英貞	更別和牛改良組合	（有）美郷牧場
第3区	若雌の2	優等賞11席	なつか	奈津百合55	浦幌町和牛改良組合	髙田 哲雄 氏
第4区	繁殖雌牛群	優等賞3席	みさき352の5	勝早桜5	十勝和牛振興協議会	大原 裕樹 氏（足寄町）
			はつね	勝早桜5		多田 隆弥 氏（池田町）
			ちさと	花国安福		山田 貴赦 氏（幕別町）
第5区	高等登録群	優等賞3席	ゆうり	安福久	池田町和牛生産改良組合	武田 大治 氏
			さきな	勝早桜5		
			うめの	梅栄福		
第6区	総合評価群 種牛群	優等賞8席 種牛群:8位 肉牛群:6位	かつよ3	勝平1	十勝和牛育種組合	（株）武隈ブリーディングファーム（豊頃町）
			かつな			野澤 敬裕 氏（池田町）
			つばさ			西嶋 一洋 氏（幕別町）
			はるき			篠島 太郎 氏（豊頃町）
	総合評価群 肉牛群		勝咲平			上士幌町農協肥育センター（上士幌町）
			桃太348			（有）トヨニシファーム（帯広市）
			太一			柴山 匡 氏（幕別町）
第7区	脂肪の質評価群	1等賞	亜光	美津利奈	小平町和牛生産改良組合	（有）グリーンリーフ
			菊利奈		音更町和牛生産改良組合	山川 克之 氏
			美津福		とうや湖和牛生産改良組合	平尾 博 氏
第8区	去勢肥育牛	優等賞21席	黄金福梅	梅栄福	音更町和牛生産改良組合	山川 克之 氏
特別区	高校及び農業大学校の部	優等賞7席	ひめしょうぶ	美津利奈	—	北海道立農業大学校

H黒-377「北神居」号

審査得点：87.4点
生年月日：令和3年2月25日
生 産 者：平取町 賀集 昭知 氏
血　　統：梅栄福×勝早桜５×百合茂

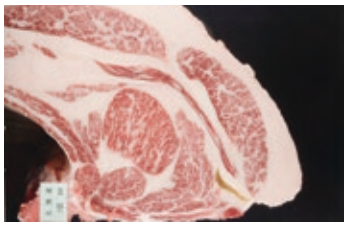
第2区 もね号

第4区 みさき352の5号、はつね号、ちさと号

第5区 ゆうり号、さきな号、うめの号

特別区 ひめしょうぶ号

第7区 菊利奈号 ■枝肉重量:449kg ■ロース芯面積:94㎠ ■BMS No.12 格付:A-5



第7区 亜光号 ■枝肉重量:447kg ■ロース芯面積:57㎠ ■BMS No.7 格付:A-4

第7区 美津福号 ■枝肉重量:397kg ■ロース芯面積:60㎠ ■BMS No.6 格付:A-4

第8区 黄金福梅号 ■枝肉重量:485kg ■ロース芯面積:79㎠ ■BMS No.12 格付:A-5

鹿児島全共まで一丸となって取り組み、好成績を残した北海道代表団の皆さま、大変お疲れさまでした。次回2027年は念願の北海道での全共開催、さらなる飛躍を目指しましょう!

令和4年度（第42回）
牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

令和4年8月15日から8月31日の間実施した
「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

相内　稜蘭	桑田　稔	竹田　颯斗	堀川　季映	山木　薫
秋山　麗人	佐伯　萌子	中川健太朗	眞々田樹莉	山口　晴夏
姉歯　功也	佐藤　裕也	長倉かずほ	水野　楓	横石　海
伊藤　柊也	首藤　直紀	中山　泰輔	宮田　和真	吉田　葵
大越　英徳	菅井　颯斗	野尻　光穂	村本　翼	米村　充未
岡野衣千花	竹田　翔馬	原田　沙耶	安田　勝治	（順不同、敬称略）

2022 北海道ホルスタインナショナルショウ

2022北海道ホルスタインナショナルショウが、9月24日(土)・25日(日)の2日間にわたり、安平町の北海道ホルスタイン共進会場にて開催されました。全道大会は2019年の第17回北海道総合畜産共進会以来、3年ぶりの開催となり、ホルスタイン320頭、ジャージー37頭の計357頭が出品されました。オフィシャル・ジャッジは(株)十勝家畜人工授精所 フィールド調査部次長の児玉辰司氏、アソシエート・ジャッジは当団事業推進部長の藤田が務めました。

共進会審査結果

ホルスタイン種	クラス	名　号	父	出品者
グランドチャンピオン インターミディエイトチャンピオン	第13部 シニア3歳クラス	サクランド ドアマン ロケツト ET	ドアマン	士幌町／山岸 剛 氏
リザーブグランドチャンピオン リザーブインターミディエイトチャンピオン	第12部 ジュニア3歳クラス	バージニア ウエルトツプ GC カレント	ゴールド チツプ	更別村／今村 慎吾 氏
シニアチャンピオン	第14部 4歳クラス	TMF ゴールド ジエイコブ インサート リアン ET	コントロール	清水町／(有)田中牧場
リザーブシニアチャンピオン	第15部 5歳クラス	フアインデール チツプ クイーン	ゴールド チツプ	標茶町／(株)ファインデール
ジュニアチャンピオン	第7部 未経産シニアクラス	フオレツクス サイドキツク C ベテイ	サイドキツク	中札内村／森 淑嗣 氏
リザーブジュニアチャンピオン	第3部 未経産ジュニアクラス	ビクトリア ウオール インプレツシヨン デイアナ	インプレツシヨン	紋別市／永峰 勝利 氏

ジャージー種	クラス	名　号	父	出品者
シニアチャンピオン	第20部 3歳以上クラス	SF ドレーパー チエリー	ドレーパー	広尾町／㈱エステイリアデイリーサービス
リザーブシニアチャンピオン	第19部 3歳未満クラス	ハイロード GOGO ジエリー	マーチン	広尾町／㈱エステイリアデイリーサービス
ジュニアチャンピオン	第17部 未経産ジュニアクラス	ローヤルランド バンクロフト ロビン	バンクロフト	大樹町／木村 達也 氏
リザーブジュニアチャンピオン	第18部 未経産シニアクラス	エステイリア ルイス コルトン バルフエ	コルトン	広尾町／㈱エステイリアデイリーサービス

当団種雄牛娘牛 1等入賞牛

2席 第8部 Jサイア2歳クラス

デイベロツプ
スカイバツク ヒラリー 9709

■父／JP3H58428 スカイバツク
■出品者／美瑛町 (株)稲川牧場

3席 第8部 Jサイア2歳クラス

2nd BU

エンドリッチ
バートン リクス

■父／58611 リクス
■出品者／天塩町 遠藤 賢人 氏

1席 第11部 Jサイア3歳クラス

BU

IBW
ハギワラ コスモスター

■父／JP3H56732 コスモポリス
■出品者／厚岸町 内柴 栄輔 氏

2席 第11部 Jサイア3歳クラス

2nd BU

フオグランド
ポータル キユートマン

■父／JP3H56376 キユートマン
■出品者／白糠町 五十嵐 大地 氏

1席 第19部 3歳未満クラス

BU

ジャージー リザーブ・シニア・チャンピオン

ハイロード
GOGO ジエリー

■父／GHJE-4 マーチン
■出品者／広尾町 (株)エステイリアデイリーサービス

北海道B&Wに引き続き、当団公式Twitterアカウントにてリアルタイムにショウの結果をお伝えしました。投稿はこちらからご覧ください!→

アソシエート・ジャッジ／リードマンコンテスト・ジャッジ
事業推進部長　藤田 功

第32回 北海道肉用牛共進会

令和4年9月10日（土）、安平町にて第32回北海道肉用牛共進会が開催、10部門に合計73頭が出品されました。本大会は、台風や新型コロナウイルス感染拡大の影響により長らく中止が続いておりました。

当団種雄牛産子も各部門において優秀な成績をおさめましたので、ご紹介いたします。

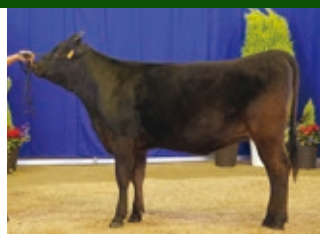
共進会審査結果

賞	部　門	名　号	父	出品者
未経産部門 最高位	第2部 未経産	ふじただひめ	安福忠	弟子屈町／郷栄農場株式会社
経産部門 最高位	第7部 経産	ひなみ	美津照重	池田町／(株)Y･K農産
群部門 最高位	第10部 繁殖雌牛群	みなみさくら	勝早桜5	網走市／(有)佐藤牧場
		かるてぃえ	勝早桜5	大空町／曽根 直弥 氏
		たかさくら	勝早桜5	網走市／(有)佐藤牧場

当団種雄牛産子 入賞牛

第1部 未経産

1等賞 1席



たかね号
- ■血統／鈴音×隆之国
- ■生年月日／令和3年9月27日
- ■出品者／足寄町 谷 豊文 氏

第4部 未経産

1等賞 1席

審査員特別賞「後躯賞」

すずみつあおい号
- ■血統／鈴音×美津照重
- ■生年月日／令和3年3月12日
- ■出品者／小平町 安田 幸浩 氏

第6部 経産

1等賞 1席

みなみさくら号
- ■血統／勝早桜5×幸紀雄
- ■生年月日／令和元年9月5日
- ■出品者／網走市（有）佐藤牧場

第8部 父系群

1等賞 1席

かとう3566号
- ■血統／勝美糸×百合茂
- ■生年月日／令和3年5月2日
- ■出品者／むかわ町 加藤 啓介 氏

こうきつのはな号
- ■血統／勝美糸×勝早桜5
- ■生年月日／令和3年5月23日
- ■出品者／むかわ町 宇南山 知也 氏

ぽこ号
- ■血統／勝美糸×勝早桜5
- ■生年月日／令和3年7月1日
- ■出品者／むかわ町 加藤 啓介 氏

第9部 母系群

1等賞 1席

ゆな号
- ■血統／勝早桜5×糸福（鹿児島）
- ■生年月日／平成27年10月11日
- ■出品者／足寄町 管野 純 氏

ゆらり号
- ■血統／勝美糸×勝早桜5
- ■生年月日／令和2年12月9日
- ■出品者／足寄町 管野 純 氏

第10部 繁殖雌牛群

1等賞 1席

群部門 最高位

みなみさくら号
- ■血統／勝早桜5×幸紀雄
- ■生年月日／令和元年9月5日
- ■出品者／網走市（有）佐藤牧場

かるてぃえ号
- ■血統／勝早桜5×福之国
- ■生年月日／平成26年6月19日
- ■出品者／大空町 曽根 直弥 氏

たかさくら号
- ■血統／勝早桜5×平茂晴
- ■生年月日／平成29年9月25日
- ■出品者／網走市（有）佐藤牧場 氏

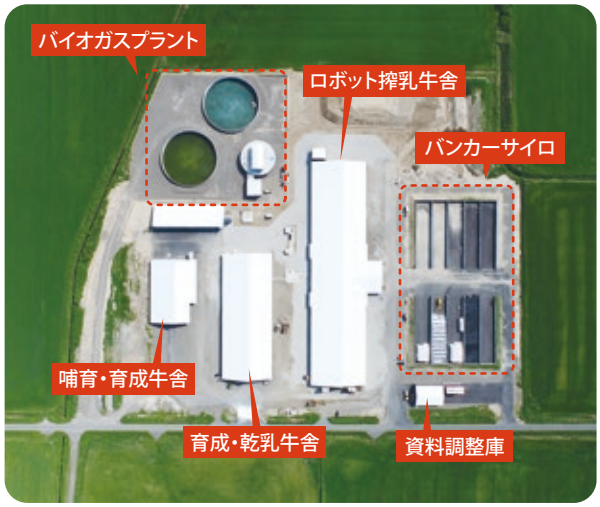
地域酪農の活性化と担い手を目指して
～中川町 合同会社ナビック～

中川町

中川町は北海道の北部に位置する町で、東には北見山地、西には天塩山地が走っており、その間には天塩川が流れる緑豊かな町です。町の産業は畑作や林業をはじめ、酪農業も盛んな町であり放牧等も行っています。またアンモナイトや恐竜の化石等が発掘されたことでも有名で、博物館もあります。

その中川町に、ロボット搾乳機を8機導入し現在は4機稼働し始めた合同会社ナビック様（代表 大西 英一さん、小平 修さん）を取材させていただきました。

合同会社ナビックの軌跡



写真提供:合同会社ナビック

昭和30年頃、畑作を行っていた大西さんの先代は大洪水の被害に遭い、昭和32年頃に酪農業に転換しました。そこから長きにわたって酪農業を営んでおり、昭和60年に大西さんが大学から帰り、平成3年から徐々に経営を引き継ぎました。

平成29年、地域酪農において数々の課題や問題がある中で、どのように活性化していくかを検討する会が大西さんを含む6名と農協の方々とで行われました。検討会の結果、メガファームを作り、町を活性化させることを狙い、事業展開を目指すこととなりました。大西さんの既存牧場は第三者経営移譲を想定し、新規就農予定者を迎え入れました。ともに作業を行い、平成31年から令和元年にかけて新規就農予定者に牛舎等を移譲しました。

令和2年6月に現在の合同会社ナビックを大西さん他1名と従業員7名で立ち上げました。牛や牛舎、他施設もゼロからのスタートでした。令和3年5月頃には、ロボット搾乳牛舎、育成・乾乳分娩牛舎、哺育・育成舎、飼料調整庫、バンカーサイロ10基、バイオガスプラントが完成。牛舎は480床を備えたフリーストール牛舎で、LELY社の搾乳ロボット8機を導入しています。自動餌寄機や、中川町では初となる敷料を牛床の上から補充するバルメタルの導入も行い、作業の簡略化を図っています。各群には10頭ほど収容できるホスピタルエリアが設けられ、治療や授精を行っています。牛舎等ができてからは徐々に初妊牛を購入し、増頭していきました。

現在のナビック

現在では搾乳牛200頭、哺育牛70頭、初妊育成牛80頭の全350頭が飼養されています。バルクは1万kg収容することができるものが2器あり、2日に1回集乳に来ます。1頭当たりの平均日乳量は33～34kgで、35kgを目標にしておられます。現在搾乳ロボットは4機稼働しており、8名体制で各部門に分かれ経営をされております。これから産次を重ねていけばより多くの生乳生産も見込めることと思います。ですが、何時間もロボットに入らない牛や、乳頭の合わない牛がいるなど、まだまだ課題があるようです。

現在飼養されている牛達はすべて初産牛で群が構成されています。分娩を控えている牛もおり、また、9月からは授精も開始し、着々と規模拡大に向けて進んでいます。また、当団の近交回避webシステムを用いながら、将来のために近交の急激な上昇を抑えつつ、ロボット牛舎にあった牛造りを徹底して行っています。授精業務は、NOSAIの先生方とも連携しつつ小平さんが主に担当されています。11月半ば頃には、8機すべてのロボットが稼働できるよう、授精や初妊牛の購入等準備を進めています。

哺育・育成牛舎では生後10日まではハッチの中で飼養され、それ以降は哺乳ロボットが導入されたペンの中で飼養します。その後12ヶ月齢になると育成・乾乳牛舎に移動し授精を行います。分娩を終えた牛達はロボット搾乳牛舎に行き経営に関わっていきます。

10基あるバンカーサイロでは収穫したサイレージを保管しており、デントコーンサイレージは農業公社よりラップされた状態で配送してもらい、自分たちでミキシングを行いTMRにして牛達に給与を行っています。敷料としての畑は35町あり、これは哺育・育成牛舎の

敷料として使用しています。グラスサイレージは従業員の方たちの畑を借りている所をすべて合わせると200町ほどの広大な面積で作られています。牧草は主に自社収穫で行っており、今年の夏は昨年に比べ収量や質等もまずまずだったのではないかと大西さんはおっしゃっていました。ダンプのみ委託を行い、バンカーまで運んでもらっています。収穫時期は忙しく人手が足りず大変なこともありますが、タイミングを見て皆が休めるよう、お互いに気をつけながら休みの調整を行っています。原則4週6休ですが体制が整い次第、ゆくゆくは週休2日で回せるように経営していきたいそうです。

またバイオガスプラントもあり、現在はおが粉を利用しながら牛体を清潔に保ち、乳房炎対策など講じていますが、今後、再生敷料を使用し資源を循環させることも目指しています。ロボット牛舎、育成・乾乳牛舎の糞尿は原料槽というところに3～4日程保管されます。その後、発酵槽で嫌気発酵を行い固液分離機にかけ再生敷料となり、残りは貯留槽に運ばれ液肥として畑に使用されます。

次にナビックの皆さまの1日をご紹介いたします。午前7時より飼養管理部門、餌部門に分かれて作業を行っていきます。飼養管理部門は哺乳や分娩直後の牛の搾乳、ロボットに入っていない牛を追う作業を行い、餌部門の方は餌づくりを行います。朝と夕方の2回給餌しています。午後1時頃にロボットの蹄浴槽の清掃や交換、ロボットの掃除を行います。3時頃から除糞、4時過ぎから哺乳、給餌を行い、終わり次第他の作業を手伝い協力しながら作業を終えます。このように自分の仕事のみではなくお互いに助け合いながら作業をすることでコミュニケーションを図っています。実際に私が取材に行った際も、とても雰囲気が良く皆さまに明るく接していただき、素敵な関係が築けていらっしゃるように感じました。

再生敷料の機械

おが粉の機械（メタバース）

展望

これからの目標は、まずは生乳生産を軌道に乗せること、経営として成り立たせることだそうです。そのためにも餌づくりの充実や事業展開、冒頭でもお話した、地域酪農の担い手となるための経営をしていくという強い気持ちのもと、取り組んでいきたいとおっしゃっていました。ゆくゆくは自分たちで生産した牛達で牛舎を埋めて経営を回していきたいという夢もあります。また労務環境にも力を入れ、従業員の方が働きやすい環境作りも行っていかれるそうです。実現するにはいくつもの課題や問題点などありますが、一つずつ確実にクリアしていき、このコロナ禍という厳しい状況下でもしのいでいくことが大切なことだと考えていらっしゃいました。

最後に

合同会社ナビックさんの取材を通して、個人はもちろん地域の方と一緒に中川町を活性化させるための取り組みや、大西さんの考えに触れ、感銘を受けました。当団としても、改良の面において少しでもお手伝いができるよう頑張ってまいります。

そして今回ご多忙の中、取材にご協力いただいた合同会社ナビック代表 大西 英一さんをはじめ、小平 修さん、合同会社ナビックの皆さまに深く感謝申し上げます。担い手や受け皿になるという強い思いが聞け、とても印象に残る取材となりました。

（道北事業所　大森 健朗）

第19回 ジェネティクス北海道
黒毛和種枝肉共励会

令和4年10月22日、第19回当団黒毛和種枝肉共励会が（株）北海道畜産公社十勝工場にて開催されました。本共励会は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、褒賞式自粛等の対策をとった中での開催となりました。

今回の出品頭数は、一般牛の部で49頭、後代検定牛の部で30頭、合計79頭でした。性別では去勢牛が43頭、雌牛が36頭となっています。

（公社）日本食肉格付協会 北海道支所 帯広事業所長の高橋英則審査委員長から頂いた審査員講評、及び当団からのコメントをご紹介いたします。

全体結果

本共励会の全体成績は、すべての枝肉が肉質等級4以上、肉質等級5は86.1％であり、脂肪交雑等級以外の肉質等級項目による下位等級はなく、一般牛（肉質等級5：85.7％）及び後代検定牛（肉質等級5：86.7％）ともに肉質の良い枝肉でした。一般牛及び後代検定牛のBMS No.はともにNo.12が40％以上あり、全体で44.3％がBMS No.12でした。さらに、BMS No.10以上が73.4％あり、平均BMS No.10.3と高い結果となりました。また、全国の去勢牛の肉質等級4・5率89.5％、肉質等級5が55.2％と比較しても良好な結果となりました。

名誉賞

審査員講評：出品番号21番、一般牛の部に出品されました山川 克之様（JAおとふけ）で、枝肉重量の大きさに対しロース芯面積が大きく、バラが厚く充実し、特に腹腿筋が4.6cmと厚く、皮下脂肪の厚さは適度で、歩留基準値が高く、枝肉の外観は各部位が厚く幅があり、長さも適度で、枝肉表面全体に無駄な脂肪付着がなく、体形の良い肉量に富んだ枝肉でした。

ロース切開面は、筋間脂肪及びロース芯を取り巻く脂肪が少なく、ロース芯の脂肪粒の形状は、太いサシがなく均一な粒状で、BMS No.12の中で最も強く感じられ、ロース芯以外の周囲筋にも脂肪交雑が満遍なく十分に入っており、肉色が浅めで光沢があり、肉の締りも特に良く、また、内面脂肪の付着状態も十分で内モモ、サーロイン、バラ等の枝肉全体のサシの抜け具合が良好で見栄えのする高品質の肉質でした。外観及び肉質ともにバランスの取れた名誉賞にふさわしい枝肉でした。

当団より：「勝早桜5」産子は、21頭（去勢15頭、雌6頭）と最も多くの出品をいただき、その平均成績は枝肉重量537.7kg、ロース芯面積72.4㎠、BMS No.10.2、肉質等級4・5率100％と素晴らしい成績を残し、そのほか優良賞も受賞しております。

○一般牛の部

審査員講評：最優秀賞には出品番号28番、株式会社 徳寿ファーム様（JAとまこまい広域）で、ロース芯面積が大きく、バラも厚く充実し、歩留基準値を下げる皮下脂肪の厚さは薄めであり、枝肉表面の脂肪付着が適度で、枝肉全体に幅があり、背側から見て厚みのある枝肉でした。ロース切開面においてもロース芯を取り巻く筋間脂肪が非常に薄く、僧帽筋等の周囲筋が特に発達し、肉量に富んだ枝肉でした。

名誉賞同様にロース芯の脂肪粒の形状は細かく、ロース芯を取り巻く周囲筋の脂肪交雑は名誉賞より充実した状態でした。しかし、名誉賞と比較してロース芯面積が小さく、腹腿筋が3.6cmと薄く、BMS No.12でも脂肪交雑がやや弱くわずかな差で最優秀賞となりました。

当団より：「梅栄福」産子は、4頭（去勢4頭）の出品をいただき、その平均成績は枝肉重量538.3kg、ロース芯面積68.8㎠、BMS No.10、肉質等級4・5率100％と素晴らしい成績を残しております。

○後代検定牛の部

審査員講評：最優秀賞は出品番号68番、山川 克之様（JAおとふけ）で、歩留等級は「A」等級でしたが、皮下脂肪の厚さが4.9cmと最も厚く、枝肉表面の脂肪付着もやや厚い状態でした。しかし、ロース切開面の筋間脂肪及びロース芯を取り巻く脂肪が少なく、バラの厚さが10cm以上あり、更に腹腿筋が4.6cmで非常に厚く、ロース芯面積も大きく、各部位は厚みがあり肉量に富んだ枝肉でした。肉質は、BMS No.12であり、切開面全体の脂肪交雑は良好であり、肉の色沢が特に良く、脂肪に粘りがあり光沢が良く、肉質のみの評価として、今回出品されたなかで特に良質な枝肉でした。

当団より：今回はH黒-319「拓忠平」、H黒-320「奈美百合」、H黒-321「博紅葉」、H黒-323「北宝翔」産子が出品されました。

このうち、最優秀賞、優秀賞を受賞した「博紅葉」は、「勝早桜5」の後継牛で、母「ふくもみじ」は北海道を代表する高育種価雌牛「もみじ」を祖母に持ち、北海道育種価脂肪交雑順23位（H29.7評価）にランクし、3産目の雌牛（父：安福久）で第50回「名人会」肉用牛枝肉研究会にて優秀賞1席の受賞を含め、BMS No.二桁を4頭輩出している高育種価雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量500kg、BMS No.10.2、肉質等級4・5率100％を記録し、令和5年1月に検定を終了する予定です。

次に優良賞を受賞した「拓忠平」は「拓百合」の後継牛で、母「あくび」は初産の去勢牛（父：安福久）で枝肉重量556kg、BMS No.12、2産目の雌牛（父：金照）で枝肉重量506kg、BMS No.8を記録した高能力雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量477kg、BMS No.10.6、肉質等級4・5率100％を記録し、全ての検定牛の格付が終了しております。

もう一つの優良賞を受賞した「奈美百合」は「百合茂」の息牛で、母「ななみ」は平成27年6月から3期にわたり北海道育種価脂肪交雑順1位にランクし、20産目の去勢牛（父：勝早桜5）で第16回みついし牛枝肉共励会にて優秀賞を受賞した高育種価雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量479kg、BMS No.9.3、肉質等級4・5率100％を記録し、令和5年4月に検定を終了する予定です。

また、入賞を惜しくも逃したものの、7頭（去勢4頭、雌3頭）の出品をいただいた「北宝翔」は「美津照重」の息牛で、母「らん290の21」は初産の雌牛（父：芳之国）で枝肉重量497kg、BMS No.10、4産目の去勢牛（父：美津照重）で枝肉重量486kg、BMS No.9を記録した高能力雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は枝肉重量461kg、BMS No.9.8、肉質等級4・5率100％を記録し、令和5年2月に検定を終了する予定です。

最後に、本共励会の開催にあたり、ご協力いただいた肥育農家の皆さまと関係団体の皆さまに心より感謝申し上げます。

名誉賞

H黒-187

かつはやざくら

勝早桜5

勝忠平 × 安平 × 隆桜

◆母の父：美国桜　◆母の祖父：安茂勝　◆肥育者：音更町／山川 克之 様
◆枝肉重量：502kg　◆ロース芯面積：92㎠　◆BMS No.12　◆格付：A-5

一般牛の部

最優秀賞　H黒-226 梅栄福

後代検定牛の部

最優秀賞　H黒-321 博紅葉

第19回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞牛一覧

令和4年10月22日 開催

褒賞		父 略号	父 名号	母の父	母方祖父	性別	出荷月齢	各付	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	市町村名／出品者名
名誉賞		H黒-187	勝早桜5	美国桜	安茂勝	雌	29.9	A5	502	92	9.3	2.0	79.5	12	音更町／山川 克之
一般牛の部	最優秀賞	H黒-226	梅栄福	美津照重	安福久	去勢	29.3	A5	554	76	9.2	1.8	76.8	12	白老町／株式会社 徳寿ファーム
	優秀賞	H黒-246	第1花藤	勝忠平	美津福	去勢	28.5	A5	560	88	9.8	3.0	77.7	12	富良野市／有限会社 ささき農畜産
	優良賞	H黒-187	勝早桜5	安福久	平茂勝	去勢	30.0	A5	536	91	8.6	1.3	79.1	12	新冠町／庄司 一也
	優良賞	H黒-262	鈴音	第1花藤	光平照	雌	29.6	A5	563	107	8.2	1.4	80.6	12	津別町／迫田 隆
後代検定牛の部	最優秀賞	H黒-321	博紅葉	安平照	百合茂	雌	29.9	A5	547	79	10.1	4.9	75.1	12	音更町／山川 克之
	優秀賞	H黒-321	博紅葉	百合茂	茂洋	雌	30.1	A5	603	73	9.8	2.9	75.2	12	音更町／山川 克之
	優良賞	H黒-319	拓忠平	美津照重	平茂晴	雌	30.1	A5	479	81	7.9	3.3	76.3	12	音更町／山川 克之
	優良賞	H黒-320	奈美百合	福桜(宮崎)	糸秀	雌	28.1	A5	483	75	8.4	2.3	76.7	12	網走市／大平 和英

※敬称略

他入賞牛の枝肉写真はコチラ

部門別枝肉成績表

【種雄牛別成績表】

名号	頭数	肉質等級4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	肉質等級4･5率
鈴音	3	3	28.6	574	90	8.0	1.6	77.8	11.7	100.0
第1花藤	3	3	29.7	523	81	8.4	2.4	76.8	11.7	100.0
博紅葉	10	10	30.1	481	67	8.4	3.0	75.1	11.0	100.0
北宝翔	7	7	28.6	486	64	8.3	2.4	75.0	10.7	100.0
美津利奈	10	10	27.6	483	63	8.2	2.5	74.7	10.4	100.0
拓忠平	7	7	30.2	461	63	7.4	2.8	74.2	10.3	100.0
勝早桜5	21	21	29.4	538	72	8.7	2.6	75.6	10.2	100.0
梅栄福	4	4	30.0	538	69	8.4	2.2	75.3	10.0	100.0
安幸福	1	1	27.8	482	56	8.5	1.4	75.1	10.0	100.0
北平安	1	1	27.0	478	52	8.3	2.6	73.3	10.0	100.0
北白翔	1	1	30.2	461	64	8.2	2.0	75.6	10.0	100.0
藤重栄	2	2	30.2	496	74	8.4	1.8	76.8	9.5	100.0
奈美百合	6	6	28.6	478	71	8.0	2.4	75.8	9.3	100.0
夜桜	2	2	28.5	544	61	8.2	3.2	73.1	8.0	100.0
英貞	1	1	27.9	478	53	7.9	2.9	72.9	8.0	100.0

【一般牛の部】

名号	頭数	肉質等級4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	肉質等級4･5率
去勢	36	36	29.0	533	68	8.4	2.3	75.1	9.8	100.0
雌	13	13	28.9	488	75	8.6	2.6	76.4	11.5	100.0
全体	49	49	29.0	521	70	8.4	2.4	75.4	10.2	100.0

【後代検定牛の部】

名号	頭数	肉質等級4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	肉質等級4･5率
去勢	7	7	28.7	485	65	8.0	2.4	74.9	10.7	100.0
雌	23	23	29.7	474	66	8.1	2.8	75.0	10.3	100.0
全体	30	30	29.5	477	66	8.1	2.7	75.0	10.4	100.0

【全体】

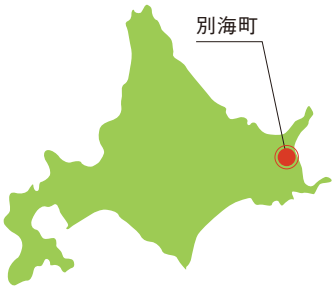
名号	頭数	肉質等級4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS No.	肉質等級4･5率
去勢	43	43	28.9	525	68	8.3	2.4	75.1	10.0	100.0
雌	36	36	29.4	479	69	8.3	2.7	75.5	10.8	100.0
全体	79	79	29.2	504	69	8.3	2.5	75.3	10.3	100.0

共進会で広がる交流の輪
～別海町 末廣牧場～

はじめに

今回取材に訪れた「末廣牧場」は、中標津町計根別市街を中心に酪農地帯である中標津町・別海町の両町にまたがる広域農協に所属し、別海町でホルスタイン種および黒毛和種を飼養しています。豊かな自然に囲まれるこの地域は、年間平均気温が10℃に満たない冷涼な気候ですが、暑さに弱いホルスタイン種にとっては極めて過ごしやすい気候である一方で、施設の充実、哺乳技術の進化に伴い、寒さに弱い黒毛和種の飼養頭数も増えてきています。

初開催された第1回根室管内和牛共進会において、当団を代表する種雄牛「勝早桜５」産子を出品いただき、第3部1等賞1席という素晴らしい成績を収めた末廣卓実さんにお話を伺いました。



末廣牧場の歴史

卓実さんは酪農学園大学を卒業後、半年間企業の肉牛生産牧場で社会経験をされ、その後平成22年に祖父の代から続く生家である牧場に就農されました。現在はJAけねべつ乳牛改良連合会副会長、そしてJAけねべつ和牛生産改良組合の監事を務めておられます。ホルスタイン種と黒毛和種両方の共進会に出品されるなど、改良に対して意欲的に取り組まれ、「ハピネス クツキー カツター ホークル マグニフイツク ET」が2022年8月GNTPランキング全国第21位と、国内トップレベルの遺伝子が生産されています。

末廣牧場では乳牛が約80頭（搾乳牛約60頭）、黒毛和種が17頭（繁殖牛約10頭）を飼養されています。飼養形態は対頭式スタンチョン牛舎で、草地面積47haのうち約13haで放牧し、牛舎内での給餌は牧草ロールを主体としているそうです。黒毛和種の改良に取り組まれてからは、ホルスタイン種よりも寒さに弱い黒毛和種のことを考慮し、暖房設備が完備された牛舎を新しく増築されました。「ランニングコストはかかるが、結果的にはホルスタイン種の発育も良くなった」と卓実さんはおっしゃいます。

新しく増設した牛舎

暖房機器

黒毛和種導入のきっかけ

就農当時より黒毛和種に興味を持たれていた卓実さんは、6年前に受精卵での導入を始め、3年前から本格的に繁殖牛の飼養を開始し、和牛改良組合にも入会しました。導入する受精卵は当団代表種雄牛「北美津久」の母「てつせん」の流れを取り入れるなど、特に母系にこだわり、また交配種雄牛については市場性を重視して選定しているそうです。当初はホルスタイン種初妊牛の個体販売をしていたそうですが、育成コストや労働力の面を考慮し、F1・和牛の初生販売に切り替えました。

パスチャライザー

「本格的に黒毛和種の育成を始めた当初はホルスタイン種と異なる部分が多く、特に哺乳は試行錯誤の繰り返しだった」と当時を振り返ります。現在では採卵も意欲的に行っており、最近では北美津久を使用することが多いそうです。

共進会への参加

就農後、卓実さんは乳牛共進会へ積極的に参加し、平成29年には北海道ホルスタインナショナルショウに出場しております。また、今年の10月7日に開催されたJAけねべつB＆Wショウにおいては「ハピネス レキシコン ダビツト マン ET」が初めてのグランドチャンピオンを獲得しました。

今回出場した和牛共進会へは、当牧場の基礎牛「ゆりり（父：百合白清２）」に勝早桜５を交配して誕生した「さくら」を出品してみないかという、JA職員からの誘いがきっかけとなりました。「自身のスキルアップと、人との繋がりを作るため参加を決意した」と語る卓実さんは、令和4年7月23日に開催された第1回根室管内和牛共進会で、見事1等賞1席に輝き、その後全道共進会への出品を決断しました。そこで和牛マスターの方々から手入れや調教について学び、また他地域の生産者との繋がりができたことが一番の収穫だったと話します。

※和牛マスター：北海道酪農畜産協会が指定した、道内各地域の和牛生産の中核を担う方々

ハピネス レキシコン ダビツト マン ET

卓実さんと「さくら」号

地域活性化への取り組み

2019年、自然豊かなこの地域のPRにつなげる100％計根別産の特産品を作るため、JAけねべつに所属する酪農家5名で「みるふちゃん工房」を設立しました。販売商品「みるふちゃん」は、フレッシュチーズのような濃厚な味わいが特徴の生乳から作られた牛乳豆腐です。「みるふちゃん」は地域のAマートや飲食店、さらにオンラインショップでも販売されていますので、味わってみてはいかがでしょうか。

最後に

地域の酪農畜産業界を盛り上げるため様々な活動をされている卓実さんは、「昨今、厳しい状況の中で、枠にとらわれずに地域の生産者と協力し、活動を通じて交流の輪を広げることにやりがいを感じる」とお話されていました。

今回ご多忙の中、快く取材を引き受けていただきました末廣牧場のこれからのご繁栄とご健勝をお祈りしますと共に、深く感謝申し上げます

（道東事業所　早川 泰斗）

みるふちゃん工房

〒088-2682 北海道標津郡
中標津町計根別本通東8丁目2-2
TEL:090-3112-5362
Mail:mirufuchan@gmail.com

【ホームページ】https://mirufuchan.com/

注目のカウファミリー 第49回

BRF ミズリー シラス サラダ ET

写真1

今回は2022年8月評価にてデビューしたゲノミックヤングサイア、JP3H60517「カプレゼ」【写真2】、JP3H60535「シーハーハー」【写真3】、JP3H60790「オレンジ」【写真4】を輩出した「サラダ」ファミリーを紹介します。6歳にして40頭以上の子孫を輩出している北海道の美瑛町（株）ベイリッチランドファーム所有「BRF ミズリー シラス サラダ ET GP-80」【写真1】から繁栄し、2022年8月評価の経産牛、未経産牛、若雄牛GNTP第1位はすべて「サラダ」ファミリー由来です。

当ファミリーをさかのぼると、カナダ ケベック州のビュクソール牧場で繁栄する「ビユクソール アレン ドラゴンフライ EX-94」【写真5】にたどり着きます。当場は数多くのEX牛を輩出した牧場として知られ、その名を世界に広めたのがドラゴンフライです。彼女の母「ビユクソール アウトサイド メアリー ソル EX-95」は、2歳VG-86点を獲得、産次を重ねるごとに得点を上げ3Eを達成したショウカウです。さらに生涯生産乳量10万kg以上 F5.3%を記録し、メアリーの優れた能力と体型は「サラダ」ファミリーの特徴として今日まで受け継がれています。

ドラゴンフライは未経産の頃からショウカウとして活躍し、オールカナディアンにもノミネートされた実績を持ちます。彼女はEX級7頭とVG級36頭（うち18頭が2歳VG級）を輩出し、44スターを獲得、どの種雄牛を交配しても優れた体型と能力の娘牛が生まれる高い遺伝伝達能力を発揮しました。彼女の代表娘牛「ビユクソール ボルトン ハリア VG-87」【写真6】が高GLPIを持ったことをきっかけにドラゴンフライの遺伝子は受精卵を介して世界20カ国に広がりました。ハリアは2010年12月経産牛LPI第6位、1歳11ヶ月305 11,912kg F4.7% P3.5%とファミリー譲りの初産から発揮する高能力を示しました。その後、彼女のフレデイ娘牛【写真7】がGTPI第1位のヤングサイア「フレーム」を輩出したことにより、インデックスカウファミリーとしての地位を確立しました。

ハリアの孫に当たる「ビユクソール プラチナ シラス ET GP-82」は2014年のセールにて＄85,000（当時約867万円）でバトラービュー牧場へ売買されました。当団では彼女のユニークな血統構成に着目し、優良遺伝資源造成事業用として導入した受精卵から誕生したのがシラス サラダです。現在未経産GNTP上位には彼女の娘や孫が多数ランキングし、日本のゲノミック評価をけん引しています。「サラダ」ファミリーは高い産乳能力に加え、好体型、好繁殖といった現代の乳牛改良にマッチした経済性と長命性が特徴です。

シラス サラダは2019年8月経産牛NTP第10位にランキングし、彼女の娘牛「BRF エンデバー ポテト サラダ ET」は現在未経産GNTP第1位の「マウントエース GEN ペイロード ポテト サラダ ET」を輩出しています。また、シラス サラダのジヤマルコ息牛「カプレゼ」「シーハーハー」は優れた産乳能力とファミリー譲りの好体型、好乳器が特徴の世界トップクラスのGNTPを誇る当団期待のゲノミックヤングサイアです。

シラス サラダの初産分娩の子「BRF モントーヤ シーザーサラダ」は現在経産牛GNTP第1位にランキング、未経産GNTP第8位の「BRF ビゲロ オイシイ サラダ ET」【写真13】を始めとしてGNTP+3000以上の娘牛を多数輩出しています。そして、シーザーサラダのマスターカード息牛「オレンジ」は先述の2頭と同様優れた産乳能力に加え、搾乳ロボットにも適したヤングサイアとして注目を集めています。

日本屈指のインデックスをけん引するカウファミリーとして、「サラダ」の活躍に今後も目が離せません。

写真2

写真3

写真4

系統図

♀ビユクソール　チヤー　マリー　ソレイル　VG-85(父:チヤールズ)
- ♀ビユクソール　アウトサイド　メアリー　ソル　EX-95(父:アウトサイド)
  - ♀ビユクソール　アレン　ドラゴンフライ　EX-94(父:アレン)【写真5】
    - ♀ビユクソール　トイストーリー　ヘイリー　ET　EX-90(父:トイストーリー)
    - ♀ビユクソール　ボルトン　ハリア　ET　VG-87(父:ボルトン)【写真6】
      - ♀ビユクソール　フレデー　フエリシア　ET　VG-85(父:フレデイー)【写真7】
        - ♂ビユクソール　フレーム　ET(父:ウーノ)
      - ♀ビユクソール　スーダン　カリーン　ET　VG-88(父:スーダン)【写真8】
        - ♀ビユクソール　プラチナ　シラス　ET　GP-82(父:プラチナ)
          - ♀テイーユー　MIS　シンシア　ET　VG-87(父:ミズーリ)
          - ♀BRF　ミズリー　シラス　サラダ　ET　GP-80(父:ミズーリ)　GNTP+3671　第10位(2019年8月評価)【写真1】
            - ♀BRF　モントーヤ　シーザーサラダ(父:モントーヤ)　GNTP+3367　第1位
              - ♀BRF　シーザー　ウラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+2857　第349位
              - ♀BRF　シーザー　ウラ　ウラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+3193　第73位【写真10】
              - ♂BRF　マスターカード　オレンジ　サラダ　ET(父:マスターカード)　GNTP+3473【写真4】
              - ♀BRF　バトラント　タノシイ　サラダ　ET(父:マスターカード)　GNTP+3138　第103位【写真11】
              - ♀BRF　ビゲロ　ウツクシイ　サラダ　ET(父:ビゲロ)　GNTP+3083　第139位【写真12】
              - ♀BRF　ウレシイ　ステラ　サラダ　ET(父:ステラ)　GNTP+2998　第211位
              - ♀BRF　ビゲロ　キモチイイ　サラダ　ET(父:ビゲロ)　GNTP+3135　第104位
              - ♀BRF　ビゲロ　オイシイ　サラダ　ET(父:ビゲロ)　GNTP+3604　第6位【写真13】
              - ♀BRF　マスターカード　クリーミー　サラダ　ET(父:マスターカード)　GNTP+3175　第80位
              - ♀BRF　ビゲロ　カリカリ　チエダー　サラダ　ET(父:ビゲロ)　GNTP+3497　第12位【写真14】
              - ♀BRF　ビゲロ　ヨーフー　サラダ　ET(父:ビゲロ)　GNTP+2869　第335位
            - ♀BRF　ジヤマルコ　チヨツプ　サラダ　ET(父:ジヤマルコ)　GNTP+2903　第298位【写真9】
            - ♂BRF　ジヤマルコ　カプレゼ　サラダ　ET(父:ジヤマルコ)　GNTP+3880【写真2】
            - ♀BRF　エンデバー　ポテト　サラダ　ET(父:エンデバー)　GNTP+3036　第177位
              - ♀マウントエース　GEN　ペイロード　ポテトサラ　ET(父:ペイロード)　GNTP+3849　第1位
              - ♀テインカーベル　GEN　ベビー　サラダ　ET(父:ザスベリラ)　GNTP+3132　第105位
            - ♀BRF　エンデバー　マカロニ　サラダ　ET(父:エンデバー)　GNTP+2463
            - ♂BRF　ジヤマルコ　シーハーハー　サラダ　ET(父:ジヤマルコ)　GNTP+3274【写真3】
            - ♀BRF　タマゴ　サラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+2460
            - ♀BRF　コブ　サラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+2651　第703位
            - ♀BRF　コーラル　ヨシエ　サラダ　キネンビ　ET(父:コーラル　RED)　GNTP+2357
            - ♀BRF　コーラル　マーメイド　サラダ　ET(父:コーラル　RED)　GNTP+2286
            - ♀BRF　ラダー　アボカド　サラダ　ET(父:ラダー)　GNTP+2760　第487位
            - ♀BRF　ラダー　カルパツチヨ　サラダ　ET(父:ラダー)　GNTP+3004　第204位
            - ♀BRF　ラダー　ワフー　サラダ　ET(父:ラダー)　GNTP+2459
            - ♀BRF　アルタザイル　ミツクス　サラダ　ET(父:アルタザズル)　GNTP+2608　第805位
            - ♀BRF　フレツシユ　サラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+2528
            - ♀BRF　シーフド　サラダー　ET(父:ラダー)　GNTP+2555　第947位
            - ♀BRF　カマウ　ベジキチ　サラダ　ET(父:カマウ)

写真5

写真6

写真7

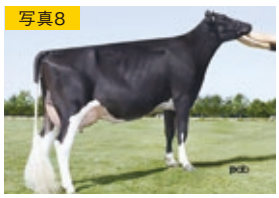


写真8

写真9

写真10

写真11

写真12

写真13

写真14

小岩先生コラム
第9回

けいれん肢症候群

ジェネティクス北海道アドバイザー　小岩（こいわ） 政照（まさてる） 獣医学博士

1975年　酪農学園大学獣医学科卒業後、
　　酪農学園大学獣医学科内科学教室助手
1980年　（旧）千歳農業共済組合 診療係長
1993年　（旧）石狩農業共済組合 江別診療所長、のち北部統括所長
1995年　酪農学園大学 附属家畜病院 助教授を経て、教授
2004年　酪農学園大学 獣医学部 教授（副病院長）
2011年　酪農学園大学 附属農場 農場次長を経て、農場長
2014年　酪農学園大学 フィールド教育研究センター
　　副センター長（2015年3月迄）
2018年　酪農学園大学 獣医学類退職、
　　キャトル リサーチ センター（CRC）を設立

1.はじめに

けいれん肢症候群（スペスティク スインドローム）は、主に3歳齢以上の乳牛に発生する後肢骨格筋の伸張を伴う筋の間欠的な両側性の強直性ケイレンを呈する進行性疾患であり、右後肢に強く発現する。本症はホルスタインとガンジー種の乳牛に多くみられ、肉用牛での発生は稀である。近年、羊での発生も報告されている。

2.原 因

けいれん肢症候群は劣性遺伝子によって発生する遺伝病とされており、原発性の脳神経系異常は確認されていない。従来は多くの牧場で本症の発生牛に遭遇したが、近年は発生が減少している。これは人工授精における精液の選択や乳牛の供用年数の減少によるものと考えられる。

本症に罹患したホルスタイン種雄牛の組織学的研究で、後肢の筋肉（大腿筋膜張筋、半腱様筋、縫工筋、腓腹筋）における筋線維の萎縮と後肢の支配神経の二次的な損傷が確認されている。

3.症 状

初期の症状は、起立時に発現する後肢（特に、右側）の伸張と臀部から後肢全体におけるケイレン、駐立時における後肢の尾側への伸張と背彎姿勢である（写真1、写真2）。

写真1

写真2

症状は漸次進行し、初期におけるケイレンは数秒程度であるが徐々に延長する。ケイレンの症状を促進、誘発する要素としては、横臥からの起立、興奮、不安、横または後ろへの移動、仙骨への圧力、顎と背中を叩く、乳頭の触診などである。

4.診 断

診断は前述した臨床症状から行い、脊椎炎や蹄病、脱臼との類症鑑別が必要であるが、発生年齢と症状から診断は比較的容易である。発生初期には生産性に対する影響はないが、数年経過すると後肢の筋肉の変化から跛行が発現して生産性が低下する。フリーストールで本症に罹患した乳牛は、起立と歩行が困難になるために飼槽へのアクセスが低下して乳量減少や繁殖性低下で淘汰率が増加する。

5.治 療

本症に対する治療としては、中枢性筋弛緩薬（メフェネシン）の経口投与と非ステロイド性抗炎症薬（フェニルブタゾン）の治験例が報告されている。筆者は、中枢性筋弛緩薬メトカルバモール（ロバキシン50～100 g/日）の経口投与を推奨する。

6.予 防

本症は遺伝性疾患であることから中枢性筋弛緩薬（ロバキシン）による症状の軽減は可能であるが完治は困難であり、人工授精種雄牛の選択と発生例の淘汰を検討すべきである。

Genetics Hokkaido
一般社団法人 ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
https://www.genetics-hokkaido.ne.jp
@gh_assoc
@genetics.hokkaido
@gh_assoc
ジェネティクス北海道
事業推進部
〈情報企画課〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈乳牛改良課〉
TEL(011)242-9646
〈肉牛改良課〉
TEL(011)242-9647
●道北事業所…… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所…… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411
広域 TEL(011)375-4395（都府県 担当連絡先）
●十勝北見事業所…… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330